

ナシ類の生育は、平年と比べて3~5日早い状況となっています。南水では、4月の低温・凍霜害により中野市管内で被害が見られる園地があります。そのため、結実不良が心配される園地では生産量確保のため、予備摘果などは行わず果実の素質がハッキリしたところで管理作業を行って下さい。

## 年度別の南水開花始め状況（調査地点：田麦沖）

年度	平年	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
開花日	4/22	4/26	4/25	4/13	4/21	4/10

## 和梨【有袋・無袋】共通定期防除（結実不良園については、有袋の散布時期を参考）

散布時期	<u>無袋</u> ：6/10 前後（前回から10日後） <u>有袋</u> ：6/15 前後（前回から15日後）	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤（ハイテンパワー） 10ml ベルコートフロアブル 50ml（14日前、5回） 劇ダイアジノン水和剤 34 100g（14日前、6回）	◆ 散布量： ㍓
対象病害虫	黒斑病、黒星病、輪紋病 コナカイガラムシ、シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類	
散布量	10アール当り：450 ㍓	
注意事項	①【代替】通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

## 和梨【無袋】定期防除

散布時期	<u>無袋</u> ：6/20 前後（前回から10日後）	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤（ハイテンパワー） 10ml アーデントフロアブル 50ml（前日、3回） ロブドー水和剤 125g（14日前、5回）	◆ 散布量： ㍓
対象病害虫	黒斑病、アブラムシ類、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類	
散布量	10アール当り：450 ㍓	
注意事項	①【代替】通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

次回特報（和梨） 発行予定日：6月16日  
6月下旬の薬剤散布について  
散布日目安：6月30日頃

◆ 西洋梨の定期防除  
注意事項は次面をご覧ください。



**西洋梨【有袋】定期防除** (収穫中の作物への飛散に注意する)

**【有袋】 6月中旬の薬剤散布 (前回より約15日後)**

散布時期	6/15 前後 ※目安となります	散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml シトラノフロアブル 100ml (30日前、3回) 劇ダイアジノン水和剤 34 100g (14日前、6回)	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、コナカイガラムシ	
散布量	10アール当り：600 リットル	
注意事項	① 輪紋病対策：感染予防のため散布後3日以内を目安に袋掛けを行う。	

**【有袋】 特別散布 6月下旬の薬剤散布**

散布時期	6月25日前後 ※目安となります	散布日：6月 日
散布薬剤	水 100リットル 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml オキシラン水和剤 200g (3日前、9回)	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病	
散布量	10a当り：600 リットル	
注意事項	① 輪紋病対策：散布時期は前回より10日後を目安とする。	

**西洋梨【無袋】定期防除** (収穫中の作物への飛散に注意する)

**【無袋】 6月中旬の薬剤散布**

散布時期	6月15日前後 ※目安となります	散布日：6月 日
散布薬剤	水 100リットル IC ボルドー412 3.3kg 劇ダイアジノン水和剤 34 100g (14日前、6回)	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：600 リットル	
注意事項	① IC ボルドーに代えて、オキシラン水和剤の500倍 (3日前、9回) でも良い。 ② 葉やけ防止のため涼しい時間帯に散布する。	

**【無袋】 6月下旬の薬剤散布**

散布時期	6月25日前後 ※目安となります	散布日：6月 日
散布薬剤	水 100リットル 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml 劇バイスロイドEW 50ml (7日前、2回) ナリアWDG 50g (前日、3回)	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類	
散布量	10アール当り：600 リットル	
注意事項	① ナリアWDGは、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないように注意する。 ② ハダニ類対策：カネマイトフロアブル1,000倍 (前日、1回) を加用する。	